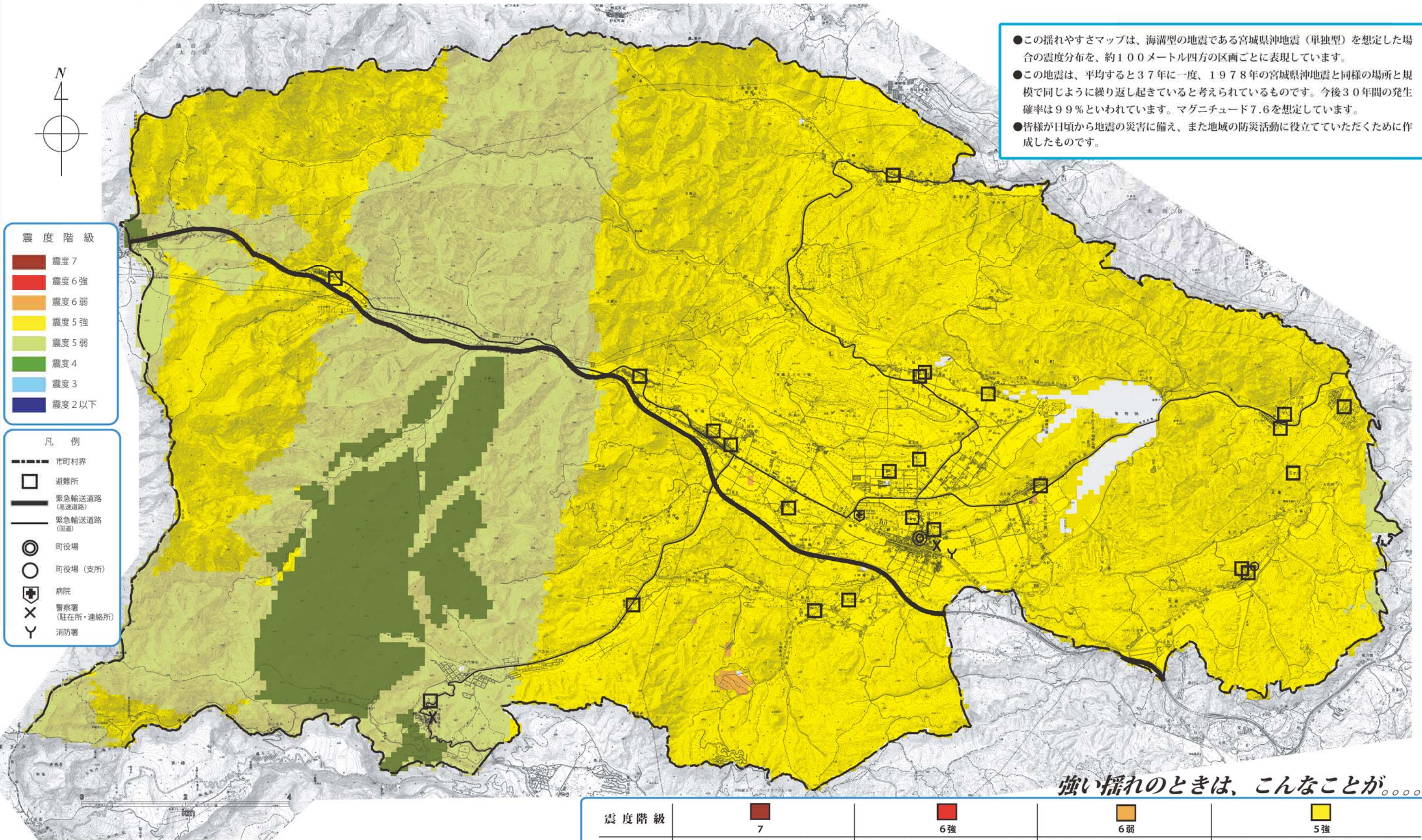


川崎町地震防災マップ

①揺れやすさマップ（宮城県沖地震（単独型）の場合）

- この揺れやすさマップは、海溝型の地震である宮城県沖地震（単独型）を想定した場合の震度分布を、約100メートル四方の区画ごとに表現しています。
- この地震は、平均すると37年に一度、1978年の宮城県沖地震と同様の場所と規模で同じように繰り返し起きていると考えられているものです。今後30年間の発生確率は99%といわれています。マグニチュード7.6を想定しています。
- 皆様が日頃から地震の災害に備え、また地域の防災活動に役立てていただくために作成したものです。



- 震度階級
- 震度7
 - 震度6強
 - 震度6弱
 - 震度5強
 - 震度5弱
 - 震度4
 - 震度3
 - 震度2以下

- 凡例
- 市町村界
 - 避難所
 - 緊急輸送道路(高速道路)
 - 緊急輸送道路(国道)
 - 町役場
 - 町役場(支所)
 - 病院
 - 警察署(駐在所・連絡所)
 - 消防署

強い揺れのはときは、こんなことが。。。。

震度階級	7	6強	6弱	5強
人間	揺れにほんろうされ、自分の意志で行動できない。	立っていることができず、はわないと動くことができない。	立っていることが困難になる。	非常に恐怖を感じる。多くの人が、行動に支障を感じる。
屋内の状況	ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものもある。	固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒する。戸が外れて飛ぶことがある。	固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。開かなくなるドアが多い。	棚にある食器類、書棚の本の多くが落ちる。テレビが台から落ちることがある。タンスなど重い家具が倒れることがある。変形によりドアが開かなくなることもある。一部の戸が外れる。
屋外の状況	ほとんどの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されているブロック塀も破損するものがある。	多くの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。	かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。	補強されていないブロック塀の多くが崩れる。据え付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。多くの墓石が倒れる。自動車の運転が困難となり、停止する車が多い。

このマップについてのお問合せ先： 川崎町建設水道課 TEL 84-2111(代表)

このマップは、川崎町管内図（平成18年度作成）を利用しています。